

## 第2学年国語科学習指導案

単元名 「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう

教材名 「しかけカードの作り方」ふるうち ひかる（光村図書 小学校2年下）

「おもちゃの作り方」（光村図書 小学校2年下）

### 1 単元について

#### (1) 児童観

児童はこれまでに、「たんぼぼのちえ」と「どうぶつ園のじゅうい」の2つの説明的な文章の学習をしている。そこでは、書かれていることを表にまとめることで順序を捉えながら読んだり、自分の経験と結び付けて感想をもちながら読んだりしてきた。また、「今週のニュース」「かんさつ名人になろう」「お話のさくしゃになろう」「友だちのこと、知りたいな」で観察文、創作文、紹介文など様々な形式で書くことを学習している。しかし、分かりやすく説明する文章を書いた経験はまだない。

#### (2) 教材観

本単元は、「読むこと」領域の「しかけカードの作り方」と「書くこと」領域の「おもちゃの作り方」の2つの教材を関連付けて構成する。言語活動として、おもちゃの作り方を説明する文章である「なるほどせつめいカード」を友達に向けて書くという活動を設定し、分かりやすい説明の仕方を学ぶために教材を読んでいく。

「しかけカードの作り方」では、分かりやすく説明するためにどのような工夫を使って書かれているかを読み取っていく。完成したしかけカードが最初のページに写真で掲載されており、児童の作ってみたいという意欲を喚起する提示になっている。

本文は、〈はじめの文〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈つかい方〉の項目に分けて説明がなされている。また、順序を表す言葉が使われていること、大きさや長さなどの具体的な数字が使われていることや絵・写真が使われていること、作る時に気を付けることや使い方が書かれていることが説明の工夫として挙げられる。

「おもちゃの作り方」でも、いろいろな手作りおもちゃの写真が掲載されており、児童の意欲を喚起する工夫となっている。また、本文中に線が引いてある部分があり、分かりやすく伝えるための工夫として捉えさせることができる。また、「しかけカードの作り方」では〈つかい方〉の項目が、「おもちゃの作り方」では〈あそび方〉となっている。このように、説明するものによって、ふさわしい項目に書き換える必要性にも気付かせることができる。

#### (3) 指導観

指導に当たっては、単元の導入部分で教師が作ったおもちゃを見せ、友達に作り方を教えようという目標を設定する。そして、おもちゃを作るには、「なるほどせつめいカード」（作り方を説明した文章）が必要になることに気付かせ、分かりやすい「なるほどせつめいカード」を書くために読む、読んだことを生かして書くという目的をもたせるようにする。

読み取りの段階では、説明をしている文章の中に用いられている工夫を読み取っていく。本単元読み取らせる説明の工夫は次の3点である。

- ① 順序を表す言葉が使われていること。
- ② 具体的な数字や写真が使われていること。

③ 作るときに気を付けることや使い方を教える書き方が工夫されていること。

また、説明のときに使う言葉や文章表現として、自分ならどんな書き方をするか、付け加える言葉はないかなどを考えさせ、語彙を広げさせることで、「なるほどせつめいカード」を書くときにも活用させたい。

「おもちゃの作り方」では、「しかけカードの作り方」で学んだことがどのように使われているかを読み取り、そこでの説明の工夫を確認させていきたい。さらに線が引いてある部分について、違った説明の仕方ができないかを考えさせる。そして、より分かりやすく伝えるために、自分のおもちゃに合った説明の仕方が有効であることを伝える。

「なるほどせつめいカード」を書く段階では、まず、〈はじめの文〉と〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈あそび方〉の項目に分かれた構成になっていることを意識させる。また、読み取りの段階で学んできた3つの説明の工夫を取り入れて書くことを重点的に指導していく。なるべく学級全体が同じ進捗で進むように〈はじめの文〉と〈ざいりょうとどうぐ〉、〈作り方〉の途中までは一斉指導により書かせていきたい。書き進めさせる中で、間違った書き方をしている場合は個別の指導や全体指導を随時行っていく。

完成した「なるほどせつめいカード」は、友達同士で読み合い、自分の書いた文章が実際に伝わるかを確認し合わせる。また、自分が書いた文章と読み比べ、書き方の違いに気付かせたり書き方のよいところを紹介し合わせたりして説明の工夫の大切さの共有化を図りたい。

## 2 単元の目標

- おもちゃの作り方に関心をもって教材文を読み取り、学習したことを生かしておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとすることができる。
- 「しかけカードの作り方」で読み取った説明の工夫を生かして、「なるほどせつめいカード」におもちゃを作るための説明の文章を書くことができる。
- 「なるほどせつめいカード」を書くために、「しかけカードの作り方」の説明の工夫を読み取ることができる。
- 順序性を表す表現の意味を理解することができる。

## 3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事物の作り方に関心をもち、教材文を読み取ろうとしている。</li><li>・ 学習したことを生かして、事物の作り方を説明する文章を書こうとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 説明の工夫を生かして、おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。 【B書くこと(1)イ】</li><li>・ 文と文との続き方に注意し、つながりのある文章を書いている。 【B書くこと(1)ウ】</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 説明の工夫に気付きながら教材文を読んでいる。 【C読むこと(1)イ】</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 順序性を表す表現の意味を理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ウ)】</li></ul>

#### 4 指導と評価の計画（全9時間）

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	○ 単元のめあてを知る。 ○ 教材文を読み, 学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手作りおもちゃを見せ, 友達に作り方を教えたいという意欲をもたせる。</li> <li>・ 友達に説明するための「なるほどせつめいカード」を書くという単元のめあてを示し, 学習計画を立てさせる。</li> </ul>	<p>【関】「なるほどせつめいカード」を書くことに興味をもち学習計画について話し合おうとしている。</p> <p>[ワークシートの記述内容と発言内容]</p>
二	2	○ 教材文「しかけカードの作り方」の文章構成を読み取る。 〈はじめの部分〉 〈ざいりょうとどうぐ〉 〈作り方〉 〈つかい方〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈はじめの部分〉に話題提示があることに気付かせる。</li> <li>・ 説明の部分が〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈つかい方〉の項目に分かれた構成になっていることに気付かせる。</li> </ul>	<p>【読イ】文章の組み立てに気付きながら読んでいる。</p> <p>[ワークシートの記述内容と発言内容]</p>
	3	○ 「しかけカードの作り方」の説明の工夫に着目して読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文中から順序を表す言葉を見付けさせる。</li> <li>・ 順序を表す言葉の使い方を理解させ, そのよさに気付かせる。</li> </ul>	<p>【読イ】順序を表す言葉を使うことのよさに気付きながら読んでいる。</p> <p>[ワークシートの記述内容と発言内容]</p>
	4	○ 「しかけカードの作り方」の説明の工夫に着目して読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な数字を使った説明の部分とそのよさを見付けさせる。</li> <li>・ 写真や絵を使っている部分とそのよさを見付けさせる。</li> <li>・ 「おもちゃの作り方」も, 同様の工夫を使って書かれていることに気付かせる。</li> </ul>	<p>【読イ】数字や絵・写真を使うことのよさに気付きながら読んでいる。</p> <p>【言イ(ウ)】数量を表す色々な表現の仕方を理解している。</p> <p>[ワークシートの記述内容と発言内容]</p>
	5	○ 「しかけカードの作り方」の説明の工夫に着目して読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気を付けることや使い方が書いてある部分を見付けさせ, 書き方の特徴に気付かせる。</li> <li>・ 「おもちゃの作り方」でも同様の工夫を使って書かれていることに気付かせる。</li> </ul>	<p>【読イ】作るときに気を付けることや使い方を教える書き方のよさに気付きながら読んでいる。</p> <p>【言イ(ウ)】作るときに気を付けることや使い方を教える書き方を理解している。</p> <p>[ワークシートの記述内容と発言内容]</p>
三	6 ・ 7	○ 説明の工夫を使って, 「なるほどせつめいカード」を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈つかい方〉〈あそび方〉の構成を意識させながら</li> </ul>	<p>【関】説明の工夫を使って, 「なるほどせつめいカード」を意欲的に書こうとしている。</p>

	(本時)		書かせる。 ・説明の工夫を使って書かせる。 ◆順序を表す言葉 ◆数字や絵 ◆気を付けることやあそび方など	[せつめいカードの記述内容と発言内容] 【書イ】説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。 【書ウ】事柄の順序にそって、つながりのある文章を書いている。 [せつめいカードとチェックカードの記述内容]
	8	○ 「なるほどせつめいカード」を読み合い、説明の工夫を使って書いているか確かめる。	・読み返しをする観点として説明の工夫を示して作品を交流させる。 ・説明の工夫を使っているか確かめさせる。	【書ウ】「なるほどせつめいカード」を読み合い、説明の工夫を使ってつながりのある文章を書いているか確かめている。 [せつめいカードとワークシートの記述内容]
四	9	○ 事物を説明をしている本を読む。 ○ 単元を通して身に付いた力を確認する。	・教科書に掲載されている、事物の説明をしている本を紹介し、関心をもたせる。 ・説明の工夫が身に付いたことに気付かせる。	【関】事物を説明している本に関心を持ち、その本を読んで、説明の工夫を見付けようとしている。 [ワークシートの記述内容と発言内容]

## 5 本時の指導（6・7／9）

### (1) 目標

説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書くことができる。

### (2) 展開

学習活動	○指導上の留意点 ■ICTの活用 ●形成的評価とそれに基づく支援
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○ 教師作成の「なるほどせつめいカード」を提示し、説明の工夫を見付けさせる。 ■ 「しかけカードの作り方」の学習で学んだ表現が分かるスライドを電子黒板で提示する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           せつめいのくふうをつかって、一年生に分かりやすい「作り方」を書こう。         </div>	
2 「作り方」を書く。	○ 〈はじめ〉の部分は、何の作り方を説明するのかを一斉指導で書かせる。 ○ 〈中〉の部分は、4つの段落で、色分けした短冊に書かせる。 ○ 4枚の挿絵に合う文章を考えさせる。 ○ 以下の言葉を使って書いている児童を称賛する。

〈はじめ〉

- ・ 何の作り方をせつめいするのかみじかく書く。

〈中〉

- ・ だんらくのはじめに、じゅんじょをあらわすことばをつかう。
- ・ 数字や絵をつかう。
- ・ 作るときに気をつけることを書く。

〈おわり〉

- ・ せつめいをおわることを書く。

順序を表す言葉 (まず、次に、それから、最後に など)

数字を表す言葉 (3冊、2本、3個 など)

場所を表す言葉 (上、下、真ん中、はし など)

大きさを表す言葉 (小指ぐらいの、「ハ」の字のように など)

気を付けること (～しないように、～しましょう、気をつけましょう、注意しましょう など)

3 出来上がった短冊を読み返す。

【予想される児童の発言】

- ・ 「じゅんじょことば」があるから、つながっているのが分かる。
- ・ 三つ目のたんざくに、「〇〇ことば」を入れると分かりやすくなる。
- ・ 「気をつけること」が入っているからちゅういするところ分かる。

など

4 チェックカードに振り返りをする。

5 次時の学習について見通しをもつ。

■ 説明の工夫を生かして書いている児童の短冊を電子黒板で提示し、表現のよさを全体に広げる。

● 書き進んでいない児童には、実物を見せたり、グループの友達の記事を参考にさせたりする。

【評価】 関

説明の工夫を使って、「なるほどせつめいカード」を意欲的に書こうとしている。

[せつめいカードの記述と発言内容]

○ 短冊と短冊の内容が繋がっているか、短冊と挿絵が合っているかを確認させる。

○ 説明の工夫を入れて書くことが出来ているか、グループで検討したり、違うグループの児童にアドバイスをもらったりするように促す。

○ 必要に応じて、挿絵の差し替えや文章の修正をさせる。

■ 出来上がった児童の短冊を電子黒板で提示し、作品の全体としてのつながりやまとまりに視点を向けさせる。

【評価】 書イ

説明の工夫を使って、おもちゃの作り方を説明する文章を書いている。

【評価】 書ウ

事柄の順序にそって、つながりのある文章を書いている。

[せつめいカードとチェックカードの記述内容]

○ チェックカードに、書き終えた作品の自己評価をさせる。

○ 短冊を「なるほどせつめいカード」に貼らせる。

○ 出来上がった作品を読み合って交流することを知らせる。